

# 令和2年度 一般会計決算附属資料

## 消防本部 主要な施策の成果

予算科目	款	09 消防費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	消防本部								
	項	01 消防費							11,153千円	11,905千円	752千円	93.6 %				
	目	01 常備消防費											(参考)当初予算額			
	事	02 消防本部総務業務												10,144千円	課	総務課
	細事	01 消防本部総務業務														
総合計画 基本計画	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実 [ 10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実 ]	主な財源														
目的	消防業務の企画、調整、施設の管理及び職員の被服等貸与並びに安全衛生管理等を行い、円滑な業務遂行を図る。															
主要な事務・事業の概要	<p>消防長会、府立消防学校、消防・防災関連会議等への出席、制服等職員貸与品の購入、事務用品、コピー代、電話代等の支払い事務を行った。</p> <p>消防活動時の安全管理の基本となる防火服等のうち、損耗の著しいものについて更新を行った。</p> <p>※消防吏員99人（うち女性1人） （令和3年3月末現在）</p> <p>○旅費 230千円 ・消防長会、消防学校、京都府主催会議等</p> <p>○消耗品費 4,296千円 ・現任職員貸与被服等購入費（制服、活動服、救助服等） 1,032千円 ・令和3年度新規採用職員貸与被服等購入費（制服等） 1,263千円 ・法令関係図書、事務用品、コピー代等 2,001千円</p> <p>○通信運搬費 1,142千円 ・電話料金、郵便料金、久美浜有線放送料金等</p> <p>○肝炎ウイルス検診委託料 24千円 （令和2年度新規採用職員3人のうち1人）</p>			<p>○職員健康診断委託料等 2,140千円 ・潜水業務健康診断（13人） ・C型肝炎抗体検査（88人） ・労働安全衛生法に基づく消防職員第2回健康診断（交代勤務者77人） ・救急隊員の感染防止対策に係る抗体検査等（89人） ・救急隊員の感染防止対策に係るワクチン接種（60人） ・救急救命士養成研修所入所前ワクチン接種（1人）</p> <p>○コピー機借上料、有料道路通行料、テレビ受信料等 420千円</p> <p>○備品購入費（防火服上下、防火帽、防火長靴等） 2,222千円</p> <p>○全国消防長会等負担金等 389千円</p> <p>○その他事務経費等 290千円</p>												
	成果・課題	<p>○事務用品、消耗品等の発注を消防本部総務課で一括して行うなど、経費の削減に努めた。</p> <p>○24時間体制での運用が必要な常備消防活動を維持するため、引き続き消防職員の健康管理及び安全管理を適切に行う必要がある。</p>														

予算科目	款	09 消防費	本年度決算額 3,339千円	最終予算額 3,351千円	不用額 12千円	執行率 99.6 % (参考)当初予算額 3,351千円	部 消防本部																									
	項	01 消防費																														
	目	01 常備消防費																														
	事	03 消防訓練・研修業務																														
	細事	01 救急救命士養成業務																														
総合計画 基本計画	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実 [ 10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実 ]		主な財源																													
目的	市民の安全・安心な生活に寄与するため、医師の指示の下、救急車内等で救命処置ができる救急救命士の計画的な養成に加え、気管挿管が可能な救急救命士の養成を行う。																															
主要な事務・事業の概要	救急救命士資格取得のため1人を養成研修所に派遣するとともに、気管挿管を行える救急救命士の認定に必要となる病院実習に1人を派遣した。また、現任の救急救命士の病院研修を実施した。																															
	○旅費	554千円	【参考】 ○救急救命士数（令和3年3月末現在 運用列：うち女性1人）																													
	○職員研修委託料	460千円	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>運用</th> <th>運用以外</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>救急救命士数</td> <td>23</td> <td>5</td> <td>28</td> </tr> <tr> <td>指導救命士</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">認定状況</td> <td>気管挿管認定</td> <td>13</td> <td>3</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>薬剤投与認定</td> <td>23</td> <td>5</td> <td>28</td> </tr> <tr> <td>処置拡大認定（心肺停止前静脈路確保、血糖測定、ブドウ糖投与）</td> <td>23</td> <td>2</td> <td>25</td> </tr> </tbody> </table>						運用	運用以外	合計	救急救命士数	23	5	28	指導救命士	2	1	3	認定状況	気管挿管認定	13	3	16	薬剤投与認定	23	5	28	処置拡大認定（心肺停止前静脈路確保、血糖測定、ブドウ糖投与）	23	2	25
		運用	運用以外	合計																												
救急救命士数	23	5	28																													
指導救命士	2	1	3																													
認定状況	気管挿管認定	13	3	16																												
	薬剤投与認定	23	5	28																												
	処置拡大認定（心肺停止前静脈路確保、血糖測定、ブドウ糖投与）	23	2	25																												
○救急救命士養成負担金等	2,325千円	※令和2年救急件数：2,432件、搬送人員：2,292人																														
	・気管挿管病院実習（丹後中央病院：1人）	300千円	成果・課題 ○救急救命士による救命処置により、市民の安全・安心な生活に寄与できた。 ○市民の生命を守るための救急救命士の継続養成は不可欠であり、今後も計画的に養成を行っていく必要がある。また、気管挿管など、より高度な救命処置を行うことができる救急救命士の養成も必要である。 ○救急業務全般の質の向上のため、教育指導体制の充実及びメディカルコントロール協議会との連携体制の強化・円滑化を担う指導的立場の救命士の計画的な養成を行う必要がある。																													
	・救急救命士新規養成研修（京都市消防学校：1人）	2,025千円																														

予算科目	款	09 消防費	本年度決算額 1,746千円	最終予算額 2,016千円	不用額 270千円	執行率 86.6 % (参考)当初予算額 3,228千円	部 消防本部
	項	01 消防費					
	目	01 常備消防費					
	事	03 消防訓練・研修業務					
	細事	02 消防学校等研修派遣業務					
総合計画 基本計画	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実 [ 10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実 ]		主な財源				
目的	より専門的な講習会、研修等に参加し最新の技術や知識を学び職員の資質向上を図るとともに、消防活動上必要な各種資格を取得し能力の向上に努め、複雑多様化・高度化する消防業務に対応する。						
主要な事務・事業の概要	消防大学校、京都府立消防学校及び京都府消防長会等が主催する各専科課程や各種研修会へ計画的かつ積極的に参加し、消防職員として複雑多様化する災害への対応に必要とされる知識・技能の向上を図った。  ○旅費 814千円 消防大学校及び府立消防学校への入校、各種専科教育課程・研修会、消防航空隊府内消防連携訓練等各種消防救助訓練  ○消防学校専科等研修負担金 713千円 ・消防大学校：幹部科（1人） ・府立消防学校：初任教育（1人）、危険物科（1人）、予防査察科（1人）、救急科（1人）、救助科（2人）、特殊災害科（1人）、初級幹部科（1人）  ○各種講習会受講負担金 126千円 2級陸上特殊無線技士養成講習（1人）、小型移動式クレーン技能講習（1人）、玉掛け技能講習（1人）、酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者（1人）、予防技術者検定（2人）、潜水士（1人）、フルハーネス型安全帯教育（2人）			○大型自動車運転免許取得補助金（1人） 79千円  ○その他経費（有料道路通行料等） 14千円			
	成果・課題	○各種の状況を想定した災害・救助救急訓練、研修等に参加し、最新の専門的な技能・高度な知識を学ぶことで、複雑化する災害に対応する準備ができた。 ○一部教育はコロナ禍により中止されたが、各種専科教育等の受講者が持ち帰った技術、知識については、研修会等を通じて職員へフィードバックを行うことができた。 ○災害の態様が年々多様化していることから、必要となる知識・技能を習得し、対応していく必要がある。					

予算科目	款	09 消防費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	消防本部								
	項	01 消防費							5,688千円	5,743千円	55千円	99.0 %				
	目	01 常備消防費											(参考)当初予算額			
	事	04 予防・警防等業務												6,076千円	課	総務課
	細事	01 予防・警防等業務														
		諸収入	防火管理者資格取得講習料	80千円												
総合計画 基本計画	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実 〔 10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実 〕		主な財源													
目的	事業所への防火管理指導や高齢者宅等への防火訪問、防火チラシの配布を行い火災予防啓発を図る。また、消防活動を支える資機材や装備の整備、更新により活動時の安全を確保する。															
	<p>新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、事業所への立入検査、防火座談会の開催など多くを見合わせたが、各種予防運動期間にはチラシの配布、街頭広報などの防火啓発を行った。また、計画的に消火活動用・救助用資機材の点検と更新を行い、消防活動全般における安全・確実な活動に備えた。</p>															
	○消耗品費	880千円			○委託料	34千円										
	<ul style="list-style-type: none"> <li>防火管理者資格取得講習会テキスト等</li> <li>各種防火啓発広報物品、救助活動用資機材（防塵マスク等）</li> <li>感染対策用防護資機材等</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヘリポート（丹後町宇川地内）草刈業務</li> </ul>											
	○印刷製本費	243千円			○賃借料	30千円										
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・秋季、春季火災予防啓発チラシ 計41,000枚</li> <li>・角2号封筒 3,000枚</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・救助訓練用自動車借上</li> </ul>											
	○修繕料	969千円			○原材料費	59千円										
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種救助資機材、水難救助用資機材、消防活動資機材等</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・訓練用資材等</li> </ul>											
	○手数料	808千円			○備品購入費	2,602千円										
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ポンプ点検、高圧ガス容器再検査、産業廃棄物処理等</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・警防活動用資機材等（消防用ホース、空気ボンベ等）</li> </ul>											
					○その他経費	63千円										
					<ul style="list-style-type: none"> <li>・通信運搬費</li> </ul>											
					成果・課題	<p>○令和2年度は積極的な立入検査はできなかったが、消防用設備等の維持管理について適切に指導を行った。</p> <p>○住宅用火災警報器の普及率は向上しているが、台所以外への設置率は依然として低い。建物火災のうち約7割が住宅火災であるため、引き続き火災予防啓発と住宅用火災警報器の条例適合率向上に積極的に取り組む必要がある。</p> <p>○車両の積載資機材は老朽化しているものが多いことから、引き続き適切な維持管理を行いながら、計画的な更新整備に努める必要がある。</p>										

予算科目	款	09 消防費	本年度決算額 12,032千円	最終予算額 17,487千円	不用額 5,455千円	執行率 68.8 % (参考)当初予算額 7,093千円	部 消防本部																	
	項	01 消防費																						
	目	01 常備消防費																						
	事	05 救急業務																						
	細事	01 救急活動業務																						
総合計画 基本計画	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実 〔 10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実 〕		主な財源 国補 諸収入	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 救急救命臨地実習負担金		3,500千円 80千円																		
目的	救急資機材の整備や適切な管理の実施、また、関係機関との連携による救急活動の事後検証の実施などにより、安全で的確な救急活動の実施を図り、救命率の向上に努める。																							
主要な事務・事業の概要	安全かつ的確な救急業務に対応するため、必要な資機材の整備と保守管理に努めた。また、コロナ禍で救急講習会実施が制限されるなか、ソーシャルディスタンス等による感染防止対策を取り、応急手当の普及啓発の推進に努めた。			<ul style="list-style-type: none"> <li>○丹後メディカルコントロール協議会負担金 120千円</li> <li>○救急安心センターきょうと運営協議会負担金 591千円</li> <li>○その他経費 350千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・消防業務賠償責任保険料 104千円</li> <li>・クリーニング手数料（救急毛布等） 10千円</li> <li>・印刷製本（救急搬送書等） 210千円</li> <li>・医療材料費（アドレナリン、速乾手指消毒剤等） 26千円</li> </ul> </li> </ul>																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年次</th> <th>出動救急件数</th> <th>搬送人員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和2年</td> <td>2,432件(前年比 23件減)</td> <td>2,292人(前年比 29人減)</td> </tr> <tr> <td>令和元年</td> <td>2,455件(前年比 112件減)</td> <td>2,321人(前年比 116人減)</td> </tr> <tr> <td>平成30年</td> <td>2,567件(前年比 0件)</td> <td>2,437人(前年比 22人増)</td> </tr> </tbody> </table>			年次	出動救急件数	搬送人員	令和2年	2,432件(前年比 23件減)	2,292人(前年比 29人減)	令和元年	2,455件(前年比 112件減)	2,321人(前年比 116人減)	平成30年	2,567件(前年比 0件)	2,437人(前年比 22人増)	<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">参考</td> <td>繰越明許費を除いた最終予算額</td> <td>12,140千円</td> </tr> <tr> <td>実質的な執行率</td> <td>99.11%</td> </tr> </table>				参考	繰越明許費を除いた最終予算額	12,140千円	実質的な執行率	99.11%
	年次	出動救急件数	搬送人員																					
	令和2年	2,432件(前年比 23件減)	2,292人(前年比 29人減)																					
	令和元年	2,455件(前年比 112件減)	2,321人(前年比 116人減)																					
	平成30年	2,567件(前年比 0件)	2,437人(前年比 22人増)																					
	参考	繰越明許費を除いた最終予算額	12,140千円																					
		実質的な執行率	99.11%																					
	○旅費 102千円 ・救急管外搬送			■令和3年度への繰越事業（令和3年6月完了） 5,347千円																				
	○消耗品費 6,709千円 ・新型コロナウイルス感染対策物品、ディスポグローブ、マスク等			・救急車内感染防止用間仕切り設置（5台） 423千円																				
○修繕費（救急訓練用人形等） 116千円			・オゾンガス式除染装置等購入事業（4式） 4,924千円																					
○産業廃棄物処理手数料（使用済みグローブ、ガーゼ等） 383千円																								
○高圧ガス容器検査手数料 81千円																								
○京都市救命指示センター委託料 1,468千円 ・24時間体制で医師1人常駐し、救急救命士の指示要請に対応																								
○高度救急医療器材定期点検保守委託料 1,136千円 ・除細動器、患者監視装置等の医療器材を定期的に点検整備																								
○備品購入費（救急用カプノメータ 3式） 976千円			成果・課題 ○新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態措置等で、救急講習会の多くを中止したことから、応急手当の必要性・知識と技術の普及啓発や、心肺停止状態が疑われる傷病者に対するバイスタンダーの新規育成が難しかった。 ○救マーク認定制度（施設関係者による応急手当が実施可能な事業所）の普及に努めており、今年度は目標である100認定事業所を達成できたが、認定事業所の維持・継続が必要である。																					

予算科目	款	09 消防費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	消防本部								
	項	01 消防費							24,582千円	24,740千円	158千円	99.3 %				
	目	01 常備消防費											(参考)当初予算額			
	事	06 通信指令業務												25,866千円	課	総務課
	細事	01 通信指令業務														
総合計画 基本計画	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実 [ 10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実 ]	主な財源														
目的	市民の安全・安心な生活に寄与するため、24時間体制で火災・救急等の緊急要請を受信・処理する通信指令システムを適切に管理・運用する。															
主要な事務・事業の概要	24時間体制で市民から緊急通報を受け付け、高機能消防指令システムを活用した災害発生地点の特定、消防車両への出動指令、活動統制を行うとともに、市防災行政無線による災害広報対応を行った。 また、指令管制の中核となる高機能消防指令システムの不断の運用を図るため、保守点検及び部品交換を行った。		○委託料	16,062千円												
	○報償費		44千円	・消防緊急通信指令施設保守点検業務委託料（指令台、無線）14,645千円	1,278千円											
	○消耗品費（プリンタートナー、ヘッドセット等）		582千円	・緊急通報用電話発信地表示システム委託料等	139千円											
	○光熱水費（丹後地域公民館無線基地局電気代）	85千円	・自家用電気工作物保安管理委託料等	202千円												
	○修繕料	435千円	○負担金、補助及び交付金	147千円												
	・高機能消防指令システム消耗品等交換	387千円	・京都府西山中継局舎電気料金負担金	55千円												
	・システム構成機器故障修繕等	48千円	・119番通報多言語対応負担金													
	○通信運搬費（NTT専用回線料）	7,161千円	成果・課題	○機器等のメンテナンスを適切に行い、緊急通報に際して支障をきたすことなく対応を行うことができた。 ○連続運用を行う構成機材類の経年劣化による修繕、部品交換等は避けられないことから、運用に支障を生じるような重大事故を未然に防ぐため、今後も計画的な部品交換の実施など、引き続き適正に管理する必要がある。												
	・指令回線（署所音声指令用、指令地図伝送用）、119番転送回線															
	○手数料（機器設置手数料）	11千円														

予算科目	款	09 消防費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	消防本部								
	項	01 消防費							19,706千円	20,233千円	527千円	97.3 %				
	目	01 常備消防費											(参考)当初予算額			
	事	07 庁舎等維持管理事業												19,835千円	課	総務課
	細事	01 庁舎等維持管理事業														
総合計画 基本計画	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実 [ 10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実 ]	主な財源	使用料	公有財産使用料	166千円											
目的	災害時等に活動拠点となる消防庁舎及び災害対応する消防車両の保守点検等の維持管理を行う。		諸収入	市有自動車損害共済金	295千円											
			諸収入	市有自動車重量税返戻金	11千円											
			諸収入	損害保険料解約等返戻金	1千円											
			諸収入	市有自動車損害賠償金	139千円											
		目的	消防庁舎は火災・救急・救助活動に備える拠点施設であり、職員が適切に活動できる職場環境の維持に努めるため、空調設備の更新及び受変電設備の高圧進相コンデンサ取替工事を行った。 また、各消防車両は災害の最前線で運用する車両であることから、不測の災害発生に対し万全の状態での出勤し、市民の安全・安心な生活及び職員の安全確実な活動を支えるため、整備・点検を実施した。 消防庁舎 4署所（峰山消防署、網野分署、久美浜分署、竹野川分遣所） 消防車両 20台（救急車5台、ポンプ車4台、指揮支援車1台、救助工作車1台、指令・広報車5台、資機材搬送車1台、事務連絡車2台、軽トラック1台） ○消耗品費（トイレトーパー、蛍光管、洗剤等） 400千円 ○燃料費 5,278千円 ・施設関係燃料（ガス、灯油代、自家発（6基）軽油代） 1,689千円 ・車両関係燃料（ガソリン、軽油代） 3,589千円 ○光熱水費（4署所の電気料金、上下水道代） 6,901千円 ○修繕費（維持補修費・その他） 4,127千円 ・施設関係 877千円 受変電設備高圧進相コンデンサ取替、屋根雨漏り改修、 庁舎クロス・タイル張替え、玄関ドアヒンジ取替、漏水改修等	・車両関係点検・整備（20台） 3,250千円 定期点検（3か月（大型のみ）、6、12か月）、修理等 ○公用車車検経費（10台分、自動車重量税） 506千円 ○自動車損害保険料 405千円 ○保守点検委託料 353千円 通信指令室等空調設備、キュービクル保安管理、消防用設備等保守点検等 ○清掃用具借上料（モップ、マット等4署所分） 163千円 ○工事請負費 1,123千円 空調設備更新工事（峰山消防署1階仮眠室、2階事務所） ○備品購入費（ガスコンロ1台（網野分署）） 24千円 ○その他経費（自動車登録手数料、ごみ持込・廃油処理手数料等） 426千円												
主要な事務・事業の概要	○消防庁舎の適切な維持管理ができた。 ○老朽化の目立つ広報車等も含め緊急走行を伴う消防車両について、定期的かつ計画的なメンテナンスを実施することで、火災・救急・救助等の災害発生に際し、迅速かつ的確な活動を行うことができた。 ○消防庁舎は築30年が経過し、各署所とも施設及び設備の経年劣化が見られることから、適切な状態で維持管理するため、今後も計画的な修繕等が必要である。															



予算科目	款	09 消防費	本年度決算額 38,009千円	最終予算額 38,009千円	不用額 0千円	執行率	部 消防本部																																																																														
	項	01 消防費				100.0 %																																																																															
	目	02 非常備消防費				(参考)当初予算額																																																																															
	事	01 団員報酬・公務災害補償費等				39,896千円																																																																															
	細事	01 団員報酬																																																																																			
総合計画 基本計画	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実 [ 10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実 ]		主な財源					課 総務課																																																																													
目的	消防団条例に基づき、団員に階級ごとの報酬を支給する。																																																																																				
主要な事務・事業の概要	○団員報酬 38,009千円		(参考) 消防団員数内訳 (各年4月1日現在) (単位：人)																																																																																		
	・1人当たり年額(2回に分けて支給)		<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和3</th> <th>令和2</th> <th>令和元</th> <th>平成30</th> <th>平成29</th> <th>平成28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>本 部</td> <td>16</td> <td>14</td> <td>13</td> <td>13</td> <td>10</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>峰山方面隊</td> <td>315</td> <td>315</td> <td>317</td> <td>315</td> <td>318</td> <td>317</td> </tr> <tr> <td>大宮方面隊</td> <td>259</td> <td>258</td> <td>276</td> <td>275</td> <td>278</td> <td>277</td> </tr> <tr> <td>網野方面隊</td> <td>339</td> <td>341</td> <td>356</td> <td>358</td> <td>360</td> <td>367</td> </tr> <tr> <td>丹後方面隊</td> <td>220</td> <td>222</td> <td>223</td> <td>225</td> <td>221</td> <td>218</td> </tr> <tr> <td>弥栄方面隊</td> <td>189</td> <td>192</td> <td>193</td> <td>192</td> <td>190</td> <td>195</td> </tr> <tr> <td>久美浜方面隊</td> <td>241</td> <td>242</td> <td>251</td> <td>252</td> <td>260</td> <td>258</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>1,579</td> <td>1,584</td> <td>1,629</td> <td>1,630</td> <td>1,637</td> <td>1,643</td> </tr> <tr> <td>条例定数</td> <td>1,730</td> <td>1,730</td> <td>1,730</td> <td>1,730</td> <td>1,730</td> <td>1,730</td> </tr> <tr> <td>不足数</td> <td>△ 151</td> <td>△ 146</td> <td>△ 101</td> <td>△ 100</td> <td>△ 93</td> <td>△ 87</td> </tr> </tbody> </table>						年 度	令和3	令和2	令和元	平成30	平成29	平成28	本 部	16	14	13	13	10	11	峰山方面隊	315	315	317	315	318	317	大宮方面隊	259	258	276	275	278	277	網野方面隊	339	341	356	358	360	367	丹後方面隊	220	222	223	225	221	218	弥栄方面隊	189	192	193	192	190	195	久美浜方面隊	241	242	251	252	260	258	合 計	1,579	1,584	1,629	1,630	1,637	1,643	条例定数	1,730	1,730	1,730	1,730	1,730	1,730	不足数	△ 151	△ 146	△ 101	△ 100	△ 93	△ 87
	年 度	令和3	令和2	令和元	平成30	平成29	平成28																																																																														
	本 部	16	14	13	13	10	11																																																																														
	峰山方面隊	315	315	317	315	318	317																																																																														
	大宮方面隊	259	258	276	275	278	277																																																																														
	網野方面隊	339	341	356	358	360	367																																																																														
	丹後方面隊	220	222	223	225	221	218																																																																														
	弥栄方面隊	189	192	193	192	190	195																																																																														
	久美浜方面隊	241	242	251	252	260	258																																																																														
合 計	1,579	1,584	1,629	1,630	1,637	1,643																																																																															
条例定数	1,730	1,730	1,730	1,730	1,730	1,730																																																																															
不足数	△ 151	△ 146	△ 101	△ 100	△ 93	△ 87																																																																															
団 長	189千円	成果・課題 団員確保が年々難しくなっていることから、引き続き、支援消防団員の活用を含め、団員確保を行う必要がある。																																																																																			
副 団 長	123千円																																																																																				
方 面 隊 長	123千円																																																																																				
副 方 面 隊 長	96千円																																																																																				
分 団 長	96千円																																																																																				
副 分 団 長	57千円																																																																																				
指 導 員	57千円																																																																																				
部 長	43千円																																																																																				
班 長	33千円																																																																																				
団 員	19千円																																																																																				
支 援 団 員	5千円																																																																																				

予算科目	款	09 消防費	本年度決算額 4,071千円	最終予算額 4,072千円	不用額 1千円	執行率 99.9 % (参考)当初予算額 3,835千円	部 消防本部																																																
	項	01 消防費																																																					
	目	02 非常備消防費																																																					
	事	01 団員報酬・公務災害補償費等																																																					
	細事	02 公務災害補償費等																																																					
総合計画 基本計画	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実 [ 10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実 ]		主な財源																																																				
目的	消防団員等が公務上の災害を受けた場合に損害賠償や災害補償を行う。																																																						
主要な事務・事業の概要	<p>公務災害補償制度（消防団員等公務災害補償等共済基金）や住民参加の防火訓練等における災害補償制度（日本消防協会）を活用し、消防団員等が火災や訓練等で災害を受けた場合の損害賠償や災害補償の掛金を支出した。</p>																																																						
	○災害補償費	536千円																																																					
	<ul style="list-style-type: none"> <li>公務災害補償費（医療費・休業補償費） 消防団員1人（災害時1人）</li> </ul>																																																						
	○負担金、補助及び交付金	3,535千円																																																					
<ul style="list-style-type: none"> <li>消防団員等公務災害補償掛金  <table border="0"> <tr> <td>団員</td> <td>1,730人</td> <td>×</td> <td>1,900円</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="3">(令和元年10月1日現在の条例定数)</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>消防・水防作業</td> <td>55,054人</td> <td>×</td> <td>3.5円</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="3">(平成27年国勢調査人口)</td> <td colspan="4"></td> </tr> </table> </li> <li>災害補償掛金  <table border="0"> <tr> <td></td> <td>55,054人</td> <td>×</td> <td>1円</td> <td>※千円未満切捨て</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="3">(平成27年国勢調査人口)</td> <td colspan="4"></td> </tr> </table> </li> </ul>	団員	1,730人	×	1,900円						(令和元年10月1日現在の条例定数)							消防・水防作業	55,054人	×	3.5円						(平成27年国勢調査人口)								55,054人	×	1円	※千円未満切捨て					(平成27年国勢調査人口)													
団員	1,730人	×	1,900円																																																				
	(令和元年10月1日現在の条例定数)																																																						
消防・水防作業	55,054人	×	3.5円																																																				
	(平成27年国勢調査人口)																																																						
	55,054人	×	1円	※千円未満切捨て																																																			
	(平成27年国勢調査人口)																																																						
成果・課題	<p>災害補償掛金を支出することにより、消防団員等の公務災害及び防災訓練等に参加した住民の不慮の事故に対応することができた。</p>																																																						

予算科目	款	09 消防費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	消防本部						
	項	01 消防費							88,960千円	88,960千円	0千円	(参考)当初予算額	課	総務課
	目	02 非常備消防費												
	事	02 団員退職報償金												
	細事	01 団員退職報償金												
総合計画 基本計画	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実 [ 10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実 ]		主な財源	諸収入	消防団員退職報償金	55,744千円								
目的	5年以上在職して退職した消防団員に対し、その団員の在職年数や階級に応じて支給する。また、その支給のための掛金を基金に支払う。													
主要な事務・事業の概要	消防団員の多年の労苦に報いるため、非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例に基づき、その団員の在職年数や階級に応じて退職報償金を支給した。 また、その支給のため、消防団員等公務災害補償等共済基金に掛金を支出した。													
	○報償費	55,744千円												
	○負担金、補助及び交付金	33,216千円												
		・退職報償金 (143人分)												
		・消防団員退職報償金掛金 1,730人 × 19,200円 (令和元年10月1日現在の条例定数)												
	成果・課題	条例に基づき、退職した消防団員に退職報償金を支給した。												

予 算 科 目	款	09 消防費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	消防本部				
	項	01 消防費							83,653千円	84,541千円	888千円	98.9 %
	目	02 非常備消防費										
	事	03 消防団活動運営事業										
	細事	01 消防団活動運営事業										
総合計画 基本計画	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実 [ 10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実 ]		主な財源	国補	消防団設備整備費補助金（1/3）	242千円						
目	火災、地震、風水害等において、地域の安全確保と被害拡大を防止するため、消防団員の資質向上や技能習得のために必要な訓練及び活動等のほか、消防車両等を維持管理する。			府負	きょうと地域連携交付金（消防団活動運営事業）	1,700千円						
			諸収入	消防団員安全装備品整備等助成金	188千円							
			諸収入	市有自動車損害共済金	136千円							
			諸収入	市有自動車共済解約等返戻金	2千円							
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	消防団の運営及び活動に対する経費として、分団・部等の運営費及び出動手当のほか、消防車両及び消防車庫の維持管理経費を支出した。			【参考】 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止 ・第26回京都府消防操法大会 ・第27回全国消防操法大会								
	○消防団運営活動謝金	51,724千円										
	(本部、分団、部、指導員、ラッパ鼓隊、女性消防隊、支援団員)											
	○消防団員定例表彰等に係る表彰状・徽章等	181千円										
	○消防団出動手当・訓練手当等	8,841千円										
	○消耗品費（活動服、ヘルメット、編上げ靴、手袋等）	1,639千円										
	○消防車両維持管理経費（燃料費、修繕料、保険料等86台分）	14,769千円										
	○消防車庫維持管理経費（電気代、火災保険料等90施設分）	2,186千円										
	○ポンプ点検（ポンプ自動車34台、小型ポンプ45台）	420千円										
	○備品購入費	3,339千円										
・消防用ホース（75本）	2,244千円											
・ホースブリッジ、消防用吸管（3本）	369千円											
・自動体外式除細動器（AED3式(丹後1-4、4-1、弥栄1-2)）	726千円											
○京都府消防協会京丹后市支部負担金	255千円											
○その他費用（消火栓ボックスの処分、消火器処分手数料等	299千円											
成果・課題	○消防団の運営に対する支援や施設設備、車両の適切な維持管理ができた。 ○新型コロナウイルス感染拡大防止のため、多くの訓練、式典をやむなく中止、延期あるいは規模を縮小して開催した。今後の感染拡大状況も勘案のうえ、訓練・研修等の本格的な再開に向けた検討が必要である。											

予算科目	款	09 消防費	本年度決算額 19,476千円	最終予算額 19,476千円	不用額 0千円	執行率	部 消防本部																		
	項	01 消防費				100.0 %																			
	目	02 非常備消防費				(参考)当初予算額																			
	事	04 消防設備維持管理事業				19,476千円																			
	細事	01 消防設備維持管理事業																							
総合計画 基本計画	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実 [ 10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実 ]		主な財源																						
目的	消火活動に必要な消火栓の維持管理費用として、消火栓の設置数に応じて水道事業会計へ繰り出す。																								
主要な事務・事業の概要	○繰出金 (水道事業会計6,000円 × 3,246基)		19,476千円																						
	【消火栓管理基数内訳】 (単位：基)																								
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>水道会計 管理基数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>峰山町</td> <td>458</td> </tr> <tr> <td>大宮町</td> <td>499</td> </tr> <tr> <td>網野町</td> <td>606</td> </tr> <tr> <td>丹後町</td> <td>379</td> </tr> <tr> <td>弥栄町</td> <td>353</td> </tr> <tr> <td>久美浜町</td> <td>951</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>3,246</td> </tr> </tbody> </table>		区 分	水道会計 管理基数	峰山町	458	大宮町	499	網野町	606	丹後町	379	弥栄町	353	久美浜町	951	合 計	3,246						
区 分	水道会計 管理基数																								
峰山町	458																								
大宮町	499																								
網野町	606																								
丹後町	379																								
弥栄町	353																								
久美浜町	951																								
合 計	3,246																								
				成果・課題																					

予算科目	款	09 消防費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	消防本部						
	項	01 消防費							30,927千円	30,985千円	58千円	(参考)当初予算額	課	総務課
	目	03 消防施設費												
	事	01 常備消防施設等整備事業												
	細事	01 常備消防施設等整備事業												
総合計画 基本計画	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実 [ 10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実 ]		主な財源	国補	緊急消防援助隊設備整備費補助金(1/2)	13,122千円								
目	災害発生時に迅速かつ的確に対応するため、老朽化した高規格救急自動車(緊急消防援助隊登録車両)の計画的な更新整備を行い、消防力の充実・強化と地域住民の安心・安全の確保を図る。			市債	消防自動車整備事業債(過疎対策債)	17,700千円								
主要な事務・事業の概要	<p>救急救命士等が行う高度な救命処置に対応するため、運用から11年を経過し老朽化した高規格救急自動車の更新整備を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○役務費 72千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・自動車登録抹消手数料 48千円</li> <li>・自動車リサイクル料 14千円</li> <li>・自動車損害保険料 10千円</li> </ul> </li> <li>○備品購入費 30,822千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・高規格救急自動車購入 1台(網野分署) 18,942千円</li> <li>・高度救命処置用資機材購入(網野分署) 11,880千円</li> </ul> </li> <li>○公課費 33千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・自動車重量税</li> </ul> </li> </ul>			成果・課題	<p>○老朽化した救急車を更新整備し、引き続き高度な救命処置に対応する環境を整えることができた。</p> <p>○今後も市民の生命を守るため、計画的に消防車両の更新、整備を行い高度化する救命処置に対応可能な環境を維持していく必要がある。</p>									

予算科目	款	09 消防費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	消防本部								
	項	01 消防費							33,948千円	33,985千円	37千円	99.8 %				
	目	03 消防施設費											(参考)当初予算額			
	事	02 非常備消防施設等整備事業												37,127千円	課	総務課
	細事	01 消防車両等整備事業														
府補	地域防災力総合支援事業補助金(1/2)	10,785千円														
市債	消防自動車整備事業債(緊急防災・減災事業債)	22,000千円														
総合計画 基本計画	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実 [ 10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実 ]															
目的	火災をはじめ風水害や地震などの災害発生時に迅速かつ的確に対処するため、年数が経過し老朽化した消防車両等を更新する。															
	<p>災害時などの救助活動に対応するため、CD-I型ポンプ車及び小型動力ポンプ付積載車について、チェーンソー、布担架及び救急セットなどの救助活動用資機材を装備した多機能型消防車両への更新を行った。</p> <p>○需用費 50千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>無線機格納箱取付工事等</li> </ul> <p>○役務費 46千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自動車登録抹消手数料 4千円</li> <li>自動車リサイクル料 20千円</li> <li>自動車損害保険料 22千円</li> </ul> <p>○備品購入費 33,807千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>CD-I型多機能消防ポンプ自動車 1台 22,981千円 網野第3分団第1部(福田)</li> <li>多機能型小型動力ポンプ付積載車 1台 10,826千円 峰山第3分団第2部(二箇)</li> </ul> <p>○公課費 45千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自動車重量税</li> </ul>															
							成果・課題	令和3年3月31日現在、市は消防車両83台を所有しており、そのうち、購入後20年以上経過しているものが26台あることから、今後も計画的な更新を図る必要がある。								

予算科目	款	09 消防費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	消防本部								
	項	01 消防費							23,450千円	23,455千円	5千円	99.9 %				
	目	03 消防施設費											(参考)当初予算額			
	事	02 非常備消防施設等整備事業												25,092千円	課	総務課
	細事	02 消防車庫等整備事業														
総合計画 基本計画	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実 [ 10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実 ]	主な 財源														
目的	災害時の活動拠点となる消防車庫の整備を行い、消防体制の充実強化を図る。															
<p>平成28年度の消防団組織見直しにより、網野第2分団第1部に配備された小型動力ポンプ付積載車を配置するための消防車庫（網野町網野北大路）の建築工事を行った。 また、更新整備を行う大宮第4分団第2部消防車庫（大宮町河辺）の実施設計を行った。</p> <p>○手数料 51千円 ・ 建築確認申請手数料</p> <p>○委託料 1,628千円 ・ 工事設計等委託料</p> <p>○工事請負費 21,725千円 ※構造・面積 鉄骨造平屋建 41.44㎡</p> <p>○負担金 46千円 ・ 水道加入負担金</p>			成果・課題	○消防車両を適切に配置するための車庫整備を進めることができた。 ○老朽化の進む消防車庫についても、防災拠点の確保の観点から計画的な建て替えに取り組む必要がある。												



予算科目	款	09 消防費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	消防本部					
	項	01 消防費							8,086千円	10,860千円	2,774千円	74.4 %	
	目	03 消防施設費											
	事	04 消火栓整備事業											(参考)当初予算額
	細事	01 消火栓設置事業											
課	総務課												
総合計画 基本計画	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実 [ 10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実 ]		主な財源	市債 消防防災施設整備事業債（合併特例債） 7,300千円									
目的	火災発生時に最も身近で有効な消火栓の設置を進めるため、地区要望及び地域の水利状況等を考慮し、消防水利の基準に照らし合わせ計画的に整備を行い、地域の防災力を高める。												
主要な事務・事業の概要	○需用費（修繕費） 389千円												
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・網野：地上式2基（撤去）</li> <li>・久美浜：地上式1基（補修）</li> </ul>												
	○工事請負費 7,697千円												
	【消火栓工事施工概要】												
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・峰山：地下式1基（更新）</li> <li>・大宮：地上式1基（更新）</li> <li>・丹後：地上式1基（更新）、地上式1基（撤去）</li> <li>・久美浜：地下式9基（更新）</li> </ul>												
参考	繰越明許費を除いた最終予算額		8,088千円										
	実質的な執行率		99.98%										
	■令和3年度への繰越事業												
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消火栓設置事業（令和3年10月完成予定） 2,772千円</li> </ul>												
成果・課題	地区要望や水道管の布設替えに伴い、老朽化した消火栓の更新工事を行うことで、地域の消防力を高めることができた。												

予算科目	款	09 消防費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	消防本部						
	項	01 消防費							5,901千円	6,775千円	874千円	(参考)当初予算額	課	総務課
	目	03 消防施設費												
	事	04 消火栓整備事業												
	細事	01 消火栓設置事業（繰越）												
総合計画 基本計画	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実 [ 10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実 ]		主な財源	市債 消防防災施設整備事業債（緊急防災・減災事業債） 5,800千円										
目的	火災発生時に最も身近で有効な消火栓の設置を進めるため、地区要望及び地域の水利状況等を考慮し、消防水利の基準に照らし合わせ計画的に整備を行い、地域の防災力を高める。													
主要な事務・事業の概要	○工事請負費 5,901千円 消火栓更新工事 ・峰 山：地下式1基 ・大 宮：地下式5基 ・網 野：地下式1基 ・弥 栄：地下式2基 ・久美浜：地下式7基													
	成果・課題	水道管の布設替えに併せ、老朽化した消火栓の更新工事を実施することにより、地域の消防力を高めることができた。												

予算科目	款	09 消防費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	消防本部																
	項	01 消防費							2,992千円	3,000千円	8千円	(参考)当初予算額	課	総務課										
	目	03 消防施設費																						
	事	04 消火栓整備事業																						
	細事	02 消火栓ボックス等整備事業																						
総合計画 基本計画	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実 [ 10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実 ]		主な財源	府補	きょうと地域連携交付金（消火栓ボックス等整備事業）	1,300千円																		
目的	消火栓の新設、更新及び地区要望等に基づき、老朽化した消火栓用ホース格納箱や消火栓備品を更新し、地域の防災力を高める。																							
主要な事務・事業の概要	<p>消火栓は初期消火に有効な設備で、迅速かつ効果的に使用するためには消火栓に付属する備品の維持管理が必要である。そのため、区からの要望等を踏まえ、老朽化に伴う消火栓備品の更新を行った。</p> <p>○備品購入費 2,992千円</p> <p>【消火栓備品】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>品名</th> <th>数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>屋外型ホース格納箱（スチール製）</td> <td>55台</td> </tr> <tr> <td>屋外型ホース格納箱用架台（スチール製）</td> <td>45台</td> </tr> <tr> <td>消火栓用ホース</td> <td>210本</td> </tr> <tr> <td>管そう（ノズルは噴霧タイプでない）</td> <td>18本</td> </tr> <tr> <td>消火栓開閉ハンドル（地上式用）</td> <td>15本</td> </tr> <tr> <td>消火栓開閉ハンドル（地下式用）</td> <td>20本</td> </tr> <tr> <td>単口式スタンドタイプ（地下式用）</td> <td>15本</td> </tr> </tbody> </table>								品名	数量	屋外型ホース格納箱（スチール製）	55台	屋外型ホース格納箱用架台（スチール製）	45台	消火栓用ホース	210本	管そう（ノズルは噴霧タイプでない）	18本	消火栓開閉ハンドル（地上式用）	15本	消火栓開閉ハンドル（地下式用）	20本	単口式スタンドタイプ（地下式用）	15本
	品名	数量																						
	屋外型ホース格納箱（スチール製）	55台																						
	屋外型ホース格納箱用架台（スチール製）	45台																						
	消火栓用ホース	210本																						
	管そう（ノズルは噴霧タイプでない）	18本																						
	消火栓開閉ハンドル（地上式用）	15本																						
	消火栓開閉ハンドル（地下式用）	20本																						
単口式スタンドタイプ（地下式用）	15本																							
成果・課題	老朽化した消火栓ボックス等の資機材の整備を行い、地域の防災力を高めることができた。																							

予算科目	款	09 消防費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	消防本部						
	項	01 消防費							1,870千円	1,908千円	38千円	(参考)当初予算額	課	総務課
	目	03 消防施設費												
	事	50 消防施設一般経費												
	細事	01 消防施設一般経費												
総合計画 基本計画	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実 [ 10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実 ]		主な財源	諸収入 市有建物損害共済金 169千円										
目的	消防活動を円滑に行うため、消防資機材や車庫、消防水利等の維持管理を行う。													
主要な事務・事業の概要	○需用費		1,046千円		成果・課題	消防資機材や車庫、消防水利等の適切な維持管理を行った。								
	・小西川可動堰電気料		61千円											
	・消防車庫修繕（9か所）		450千円											
	・防火水槽等修繕（2か所）		535千円											
	○役務費		7千円											
	・し尿汲取手数料													
○使用料及び賃借料		149千円												
・簡易デジタル無線電波利用料														
○工事請負費		508千円												
・消防車庫下水道接続工事（峰山第1分団第1部（杉谷））														
○負担金		160千円												
・下水道接続負担金（峰山第1分団第1部（杉谷））														

予算科目	款	09 消防費	本年度決算額 13,307千円	最終予算額 18,057千円	不用額 4,750千円	執行率	部 消防本部
	項	01 消防費				73.6 %	
	目	03 消防施設費				(参考)当初予算額	
	事	50 消防施設一般経費				18,057千円	
	細事	01 消防施設一般経費（繰越）					
総合計画 基本計画	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実 [ 10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実 ]		主な財源				
目的	消防活動を円滑に行うため、消防資機材や車庫、消防水利等の維持管理を行う。						
主要な事務・事業の概要	峰山町長岡地内防火水槽撤去工事						
	○委託料	156千円					
	・工事監理委託料						
	○工事請負費（施設撤去）	13,151千円					
	・地下式 40㎡（1基）						
				成果・課題	私有地内に設置された防火水槽の除去を行った。		